

事例 4 試行錯誤を繰り返しながら遊びを広げ、気付きの質を高める事例

- 学年 第2学年
- 主な領域 自然や物を使った遊び 内容(6)
- 事例のポイント
 - ①児童がたっぴりと試行錯誤や繰り返す活動ができるような時間と場所を設定する。
 - ②気付いたことを伝え合い交流する場を工夫する。
 - ③活動を振り返り、自分の言葉で表現する機会を設定する。

1 単元名 「うごく うごく わたしのおもちゃ」(16時間)

2 単元について

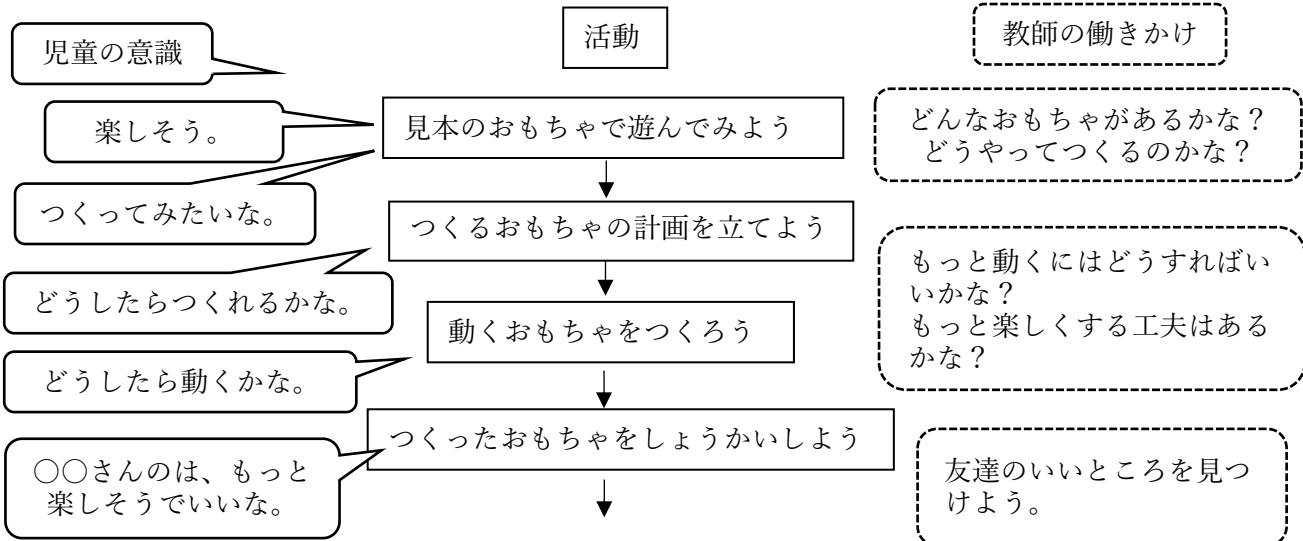
(1) 児童の実態について

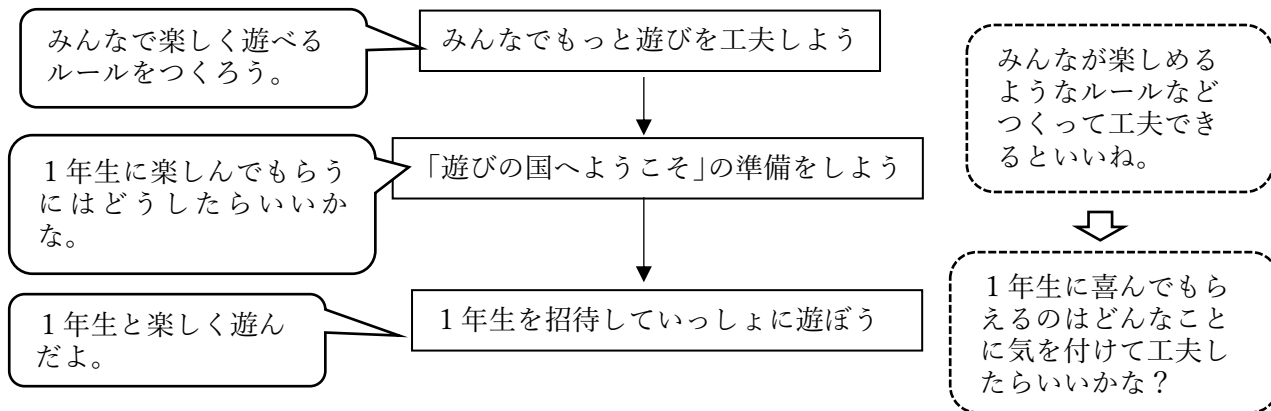
本学級の児童は、明るく素直な児童が多く、教師の話をよく聞き、言われたことや指示されたことについてはしっかりと守り、活動できる児童が多い。生活科の学習にはとても意欲的で、1学期は、町探検で調べてきたことを1枚の巨大地図にまとめることができた。しかし、自由な発想で物を作ったり、自分で考えて意思をもって行動したりできる児童は少ない。図工では、1学期から絵を描いたり工作をしたりして、作品を仕上げる活動を何度も行ってきた。児童は楽しんで自分の作品づくりに集中して取り組むことができた。本単元では、子供たちの「こんなおもちゃをつくりたい」という思いを大事にし、進んでおもちゃづくりに取り組めるようにしていきたい。

(2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、児童の実態と学習指導要領(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。児童が、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出したりできるようにすることをねらいとしている。紙、ひも、空き缶、空き箱、空き容器などの身近な材料を使って、試行錯誤を繰り返しながら遊ぶ活動を通して、児童は考えを巡らせ、遊びの面白さに気付くことができる。そのために「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」などの活動を多く取り入れ、気付きの質が高められるようにしていきたい。友達との関わりも大切にし、自分のつくったおもちゃを紹介し合ったり、相談したり意見を言い合ったり、アドバイスし合ったりして、遊びが広がっていくようにしていきたい。「どうすればうごくおもちゃがつくれるのか」「こうすればいいのか」「こう工夫すればもっと楽しくなるのではないか」と活動が活性化し、思考が進むことによって、気付きの質が高められるようにしていきたい。

(3) 児童の意識の流れ





3 単元の見目標

身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができるようにする。

4 単元の評価規準と小単元の評価規準 (16時間扱い)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	身近にあるものを使って動くおもちゃをつくる活動を通して、その面白さや不思議さに気付いている。	身近にあるものを使って動くおもちゃをつくる活動を通して、試行錯誤を重ねながらおもちゃをつくらったり遊び方を工夫したりしている。	身近にあるものを使って動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。
小単元の評価規準	1 おもちゃづくりのじゅんびをしよう (2)	①自分がつくるおもちゃを決め、動く仕組みを考えながら、必要な道具や材料を選んでいる。	①動くおもちゃについて関心を持ち、道具や身近な材料などを準備して、自分でつくろうとしている。
	2 つくってあそぼう (5)	①遊びの楽しさや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。 ②比べたり、試したり、見立てたりして、遊びを工夫している。 ③友達と関わって遊んだことを振り返り、自分なりの方法で表現している。	②身近な材料を使って意欲的におもちゃづくりに取り組んでいる。
	3 あそびの国へようこそ(9)	②約束やルールを工夫することにより、より楽しい遊びを創り出すことに気付いている。	④1年生が楽しめるように、おもちゃや遊び方、約束を考えたり工夫したりしている。

5 活動の実際

<p>小単元（時数） ◎ねらい</p>	<p>○主な活動 ●評価 ・児童の意識</p>	<p>◆気付きの質を高めるポイント ◇教師の働きかけ</p>
<p>1 おもちゃづくりのじゅんぴ(2) ◎見本のおもちゃを動かして遊ぶ中で、自分が楽しみたい遊びを思い描きながらつくるおもちゃを決め、これからのおもちゃづくりへの思いを高めることができるようにする。</p> 	<p>○教師がつくった見本のおもちゃが動く場面を見る。見本のおもちゃで遊ぶ。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しそう。 ・やってみたい。 ・どうやって動くのかな。 ・動かすのが難しいな。 ・どうやってつくるのかな。 	<p>◇児童の思いを大切にし、活動への意欲付けを図る。</p> <p>◆児童が動くおもちゃの面白さや不思議さなどに気づき、「つくってみたい」と思えるよう、教師が試しに動かしてみ、児童が自由に発言できる場面をつくる。</p> <p>◆児童が見本のおもちゃで遊ぶ時間を十分確保する。</p>
<p>事例のポイント③ 設計図から始まり、学習カードをまとめた「おもちゃずかん」を作成した。改良点を付箋で貼ったり、わかったこと、気付いたことを貼っていったりできるようにした。</p>	<p>○つくりたいおもちゃの設計図をかく。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな材料でつくるのかな。 ・どうやってつくるのかな。 ・早くつくりたいな。 	<p>◇児童がつくりたいおもちゃを決められるように、教科で紹介してあるおもちゃの拡大図を黒板に掲示しておく。</p> <p>◆教科書を見ながら、どんな材料が必要なかを自分で考え、設計図に書けるようにする。</p>
<p>事例のポイント② 一人一人の設計図が完成したら、同じおもちゃのグループを作り、材料やつくり方について話し合う時間を設けた。話し合うことにより、足りない材料があることに気付いたり、本当につくることのできるかを考えたりすることができた。</p> 	<p>●自分がつくるおもちゃを決め、動く仕組みを考えながら必要な道具や材料を選んでいる。 【思・判・表-①】(行動・カード)</p> <p>●動くおもちゃについて関心を持ち、道具や身近な材料などを準備して、自分でつくりようとしている。【態-①】(行動)</p>	<p>事例のポイント② 伝え合い交流ができるように、おもちゃを自由に選んで行きたい遊びのところへ行けるよう場の設定を工夫した。</p>

2 つくって遊ぼう(5)

◎つくったおもちゃを動かしながら、さらによいおもちゃにするための方法、考察、試行、改良を繰り返し、遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付くようにする。



事例のポイント①

児童の「やってみよう」という思いを大切に、試行錯誤や繰り返す活動を見守り、声をかけるようにした。



○設計図にかいたおもちゃを一人でつくる。(1)

- ・どうやってつくるのかな。
- ・どうしたら動くかな。

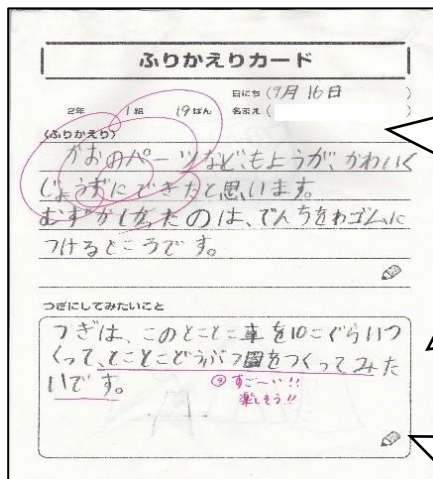


- C うまくタイヤが回らない。
 T どうすれば回るかな？
 C 竹ひごをさす穴をもっと下にすればタイヤが動きそう。
 T 穴をもっと大きく開けば竹ひごが回りそうだね。

●身近な材料を使って意欲的におもちゃづくりに取り組んでいる。【態-②】(行動)

○つくったおもちゃを紹介する。(1)

- ・こんなおもちゃをつくったよ。
- ・〇〇さんのように動くようにするにはどうすればいいのかな。



○同じおもちゃをつくった子とグループを作り、もっと楽しいおもちゃにするために、みんなで協力して工夫し、改良してさら

◆設計図を見ながらなるべく自分の力でつくりあげられるように見守り、必要な時には声をかける。



- C 穴が上のほうにあると、電池と輪ゴムがうまく回らない。
 T 電池がうまく回るには輪ゴムをつける位置が重要みたいだね。
 C もっと下のほうに穴を開けよう。

◆児童の設計図を実物投影機で映し、実物と設計図を見比べながら紹介できるようにする。

事例のポイント②

授業の振り返り場面では、動くおもちゃをつくって見てどうだったか児童に尋ね、児童の気付きを引き出し、共有した。

- C いろいろな動物をつくって競争させたら楽しそうだな。(遊びの広がり)

事例のポイント②

引き出された児童の気付きをつなぐとともに、教師が見取った児童のよさを紹介し、学級全体の学習の質を高められるようにした。

◇どの児童も発言したり活動したりできるように、活動状況を把握し、必要に応じて助言する。



に楽しいおもちゃをつくり上げる。(2)

- ・もっと大きくつくってみようかな。
- ・的あてゲームのようにしたらどうかな。

●比べたり、試したり、見立てたりして、遊びを工夫している。

【思・判・表-②】(発言・行動)

○みんなでつくったおもちゃで遊ぶ。(1)

- ・楽しく遊べてよかった。

●遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。

【知・技-①】(行動・発言・カード)

●友達と関わって遊んだことを振り返り、自分なりの方法で表現している。

【思・判・表-③】(カード)

3 遊びの国へようこそ (9)

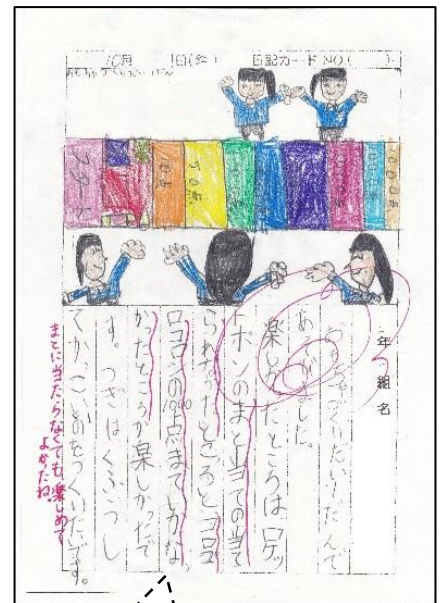
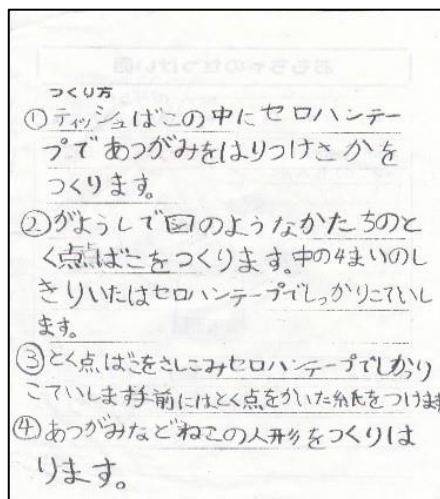
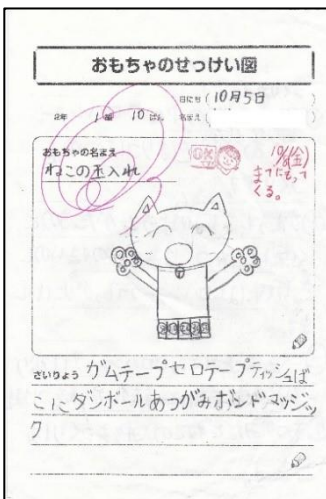
◎どんなおもちゃをついたら1年生を楽しませるか考えを出し合い、計画を立てたりみんなで楽しく遊べるように遊びを工夫したりすることができる。

○1年生が楽しく遊べそうな遊びをグループごとに話し合い、決める、設計図をかく。(1)

- ・どうしたら楽しんでもらえるかな。

●今までの体験を思い出し、1年生に楽しんでもらえるようなおもちゃをつくりたいと、遊びを工夫している。

【態-③】(発言・カード)



的に当たらなかったり、点数が入らなかったりしても、遊びを楽しめたことを実感している。また、次はもっとかっこいいのを作りたいと次への意欲をもっている。

◇小単元2で行った活動を振り返り、今度は、「1年生も楽しめるおもちゃ」作りであることをおさえる。おもちゃ自体だけでなく、遊ぶ環境やルールを工夫するとより楽しく遊べたことを振り返る。

◇教科書に載っているおもちゃだけにとどまらず、図書館などで借りた工作の本も紹介する。



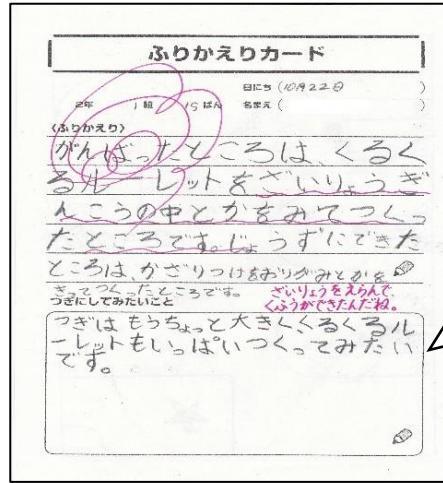
○グループごとに遊びをつくる。

(3)

- ・どうやってつくるのかな。
- ・どうしたら楽しめるのかな。

事例のポイント①

児童の「やってみたい」という思いを大切にし、試行錯誤や繰り返す活動を見守り、声をかけた。



事例のポイント③

おもちゃづくりはグループ活動であるが、毎時間の最後には、「ふりかえりカード」を個人で毎回書き、自分の気付きを表現し、またみんなにも紹介できるようにした。

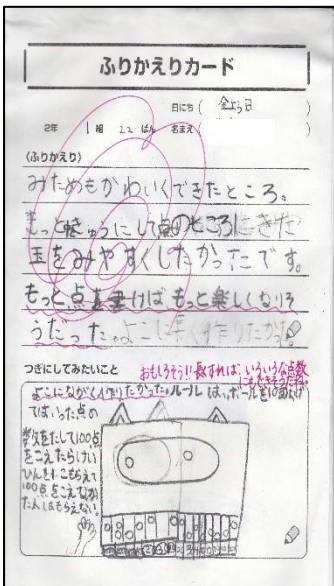
- 比べたり、試したり、見立てたりして、遊びを工夫している。
【思・判・表-②】(発言・行動)

○中間発表

つくった遊びを試しに遊んでみる。(1)

- ・思ったよりうまく動かなかったな。
- ・すぐ壊れそうだからもっと丈夫にしよう。

- ◆他のグループのおもちゃを遊んでみて、「もっとこうするといいのではないか」ということを付箋に書いてアドバイスコーナーに貼り、アドバイスできるようにする。



○遊びを工夫する。(1)

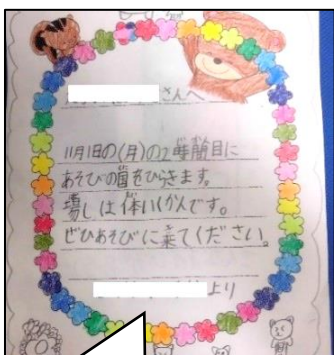
- ・的をもっと大きくしてみよう。
- ・10秒だと当てられないで終わるそうだから20秒にしようよ。

- ◇おもちゃの工夫、ルール of 工夫、環境の工夫など、さまざまな面での工夫ができるように働きかけをする。

- 約束やルールを工夫することにより、より楽しい遊びを創り出すことができることに気付いている。
【知・技-②】(行動・カード)

- ◇1年生にあった遊びやルールになっているかを確認し、工夫する。

- 1年生が楽しめるように、おもちゃや遊び方、約束を考えたり工夫したりしている。
【思・判・表-④】(行動・発言)



C 1年生に来てもらえるように招待状をおくろう。

C 看板をつくったら1年生もどんな遊びかがわかりやすいね。

- 「あそびの国へようこそ」の準備・ルールづくり(1)
- ・的の高さは、1年生の身長に合った高さにしてしよう。
- 1年生を招待して「あそびの国へようこそ」を開く。(1)

〈はじめの会でのおもちゃの紹介〉



〈玉入れゲーム〉



〈魚つりゲーム〉



〈ゴルフゲーム〉



〈くるくるルーレット〉



〈UFO キャッチャー〉



○楽しかったことを振り返る。(1)

●友達と関わって遊んだことを振り返り、自分なりの方法で表現している。

【思・判・表-③】(カード)

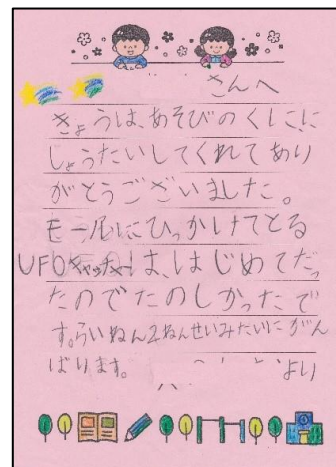
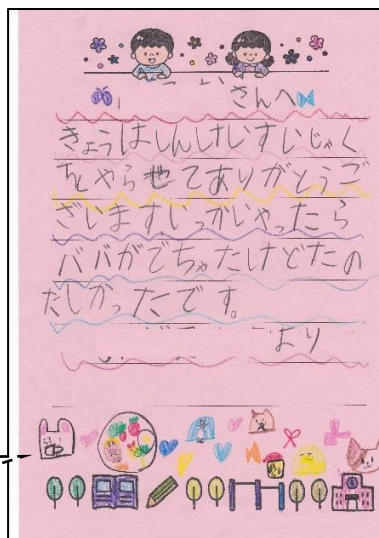
事例のポイント③

活動を振り返り、頑張ったことや楽しかったことを絵や文で表す活動を通して、友達や自分自身の成長に気付けるようにした。



つくるのは、たいへんだっけれど、1年生に喜んでもらえたことに満足している。

1年生からの
お礼のお手紙



6 本実践を振り返って

本実践は、試行錯誤を繰り返しながら遊びを広げ、気付きの質を高めるために、3つの小単元で構成し、活動を行った。最初は、作ったおもちゃで遊んだり、材料を選んで自分の手でおもちゃを作り上げたりすることに不慣れな児童も多く見られたが、活動を進めていくうちに、どんどん遊びを広げ、工夫しながら進める様子が見られるようになった。

児童の気付きの質を高めるためには、児童が自由に考え取り組める場の設定、児童同士が「ああしよう」「こうしよう」と考えを伝え合う時間の確保、活動を振り返ってそれを表現し、次の活動につなげることが大切であると感じた。また、つくったおもちゃで「あそびの国」を開き、1年生を招待して遊んだことにより、より目的意識をもって活動に取り組むことができ、達成感も味わうことができた。今後も、児童が試行錯誤しながら自ら考え、取り組んでいけるような活動を展開していきたい。